



ふじさわ体協

「藤沢市体育協会広報」第57号

平成16年7月22日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2
秩父宮記念体育馆



藤沢市教育委員会 生涯学習部長

心豊かな暮らしにスポーツを

本年4月に生涯学習部長に就任いたしました西山です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

藤沢市体育協会の皆様には、本市の生涯スポーツ振興に多大なご尽力をいただきしておりますことに、まずもつてお礼申し上げます。

私自身、体育協会の皆様方と共に仕事をさせていたることは、長い市役所生活の1/3以上の年月を数え、まさに、体育協会の皆様に支えられて育てていただいたものと実感しております。

振り返れば、藤沢市体育連盟から体育協会へと発展した際、昭和五八年から規約の改正に取り組み、改築です。

体育協会も現在では、三十一競技団体が加盟する大きな組織として発

であり、生涯にわたってスポーツで親しむことは極めて大きな意義をもっています。爽快感・達成感・人のふれあいや体力の向上・ストレスの発散など心身両面にわたる健康に資するものであり、市として条件整備することは従前にも増して重要な責務となっています。引き続き、体育協会のご支援・ご協力を賜り、老若男女が「いつでも、どこでも、だれでもが、いつまでも」スポーツに感謝申し上げます。

また、「かながわ・ゆめ国体」の開催や設立4年目を迎えた「スポーツ振興財団」の設立準備にあたりましても格段のご指導とご協力をいただきましたことにこの紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。

さて、少子高齢化、国際化、情報化と変化の激しい現代社会の中でスポーツに対する市民のニーズも多様化・高度化・専門化しております。教育委員会では、将来の本市生涯もない中で夜遅くまで、中山元会長、西島顧問、関根顧問、柳川元理事長、花塚氏、山田副会長と議論させてい

たただいたことを懐かしく思い出します。

明るく活力ある社会の形成に寄与されるようお願い申し上げ挨拶とさせ

ます。

スポーツは個々人の心身の健全な

現化へ向けて今後取り組む予定でございます。

スポーツは個々人の心身の健全な

「市民サービス」は大切な課題

藤沢市山岳協会



第十回国民体育大会が神奈川県で昭和三十年に開催される事となり、関係する各種スポーツ団体が自治体単位で体育協会を構成する歴史が始まりました。藤沢市山岳協会もこの時に加盟して今日に及んでいます、現在の構成は、職域山岳会二団体と地域山岳会四団体の合計六団体で運営しています。登山は就学以前の子どもさんから定年退職をした中年の人々、そして健康維持を目的にした活動に至るまで、ひとつに括りにくく、大変幅の広い内容を持つています。

加盟の各山岳会では特色のある運営を行っていますが、近年中高年齢者の山岳遭難、死亡に至らなくとも新聞紙面に報道される負傷者が多数出ています。楽しいはずの登山が災難を持ち帰るよう

登山に企画しています。今年の市民主峰・御在所岳です。観光バスでは日常生活を壊してしまいます。藤沢市山岳協会では上部団体の神奈川県山岳連盟に加盟して

組織された団体の一員として安全確保・仲間との楽しい交流を実現しています。藤沢市体育協会関係の委託

事業としては、①平成十三年よりはじめた「こどもスポーツまつり・クライミング体験教室」があります。

これは毎年五月五日子どもの日に秋葉台文化体育館で一日あたり三百人

とに盛大に開催しています。②

市民総合体育大会オープン競技

山岳の部：通称は藤沢市民登山

です。これは競技という名称が使われていますが「順位」をつ

けたり「タイム」を計ったりす

ることは一切しないで、充分な下見をして無理な時間設定を避けた広場で出来るゲームです。

ボールは直径7.5cmで赤色には奇数数字を、白色には赤色で2

～10迄の偶数数字を表裏に表わし、五名づつ二チームの競技

者が1番から10番まで赤白交互に三十分間プレーする対抗型

式の競技です。

まずスタートエリアに自球を置きスティックで打つて第一ゲ

ート通過が成立すると、続けて一回打撃することが出来ます、

同様に第二、第三のゲートを順番に

通過すると得点3。

また、自球を打つて他のボールに

当てる（タッチと言う）ことができ

る。その時にスライドさせて自球を思つ

た位置に進ませることも出来ます。

ですが高齢者の健康

保持の為に、太陽の下でするゲート

が試されておりますが

ボールが一番適した競技だと私は思

いじわるゲームと言われて

藤沢市ゲートボール連合

一九四七年北海道の鈴木和伸氏が

英國のクロッケーをヒントに、若い

人の為に考案したと伝えられる日本

生れのゲートボールは、藤沢に昭和

五十年頃、市全体に普及し、当市

連合は六十年六月に設立され、

平成三年に体協に加盟しました。

三つのゲートと中央にゴール

ボールを設置したコートは、一寸した広場で出来るゲームです。

ボールは直径7.5cmで赤色には奇数数字を、白色には赤色で2

～10迄の偶数数字を表裏に表わし、五名づつ二チームの競技

者が1番から10番まで赤白交互に三十分間プレーする対抗型

式の競技です。

まずスタートエリアに自球を置きスティックで打つて第一ゲ

ート通過が成立すると、続けて一回打撃することが出来ます、

同様に第二、第三のゲートを順番に

通過すると得点3。

また、自球を打つて他のボールに

当てる（タッチと言う）ことができ

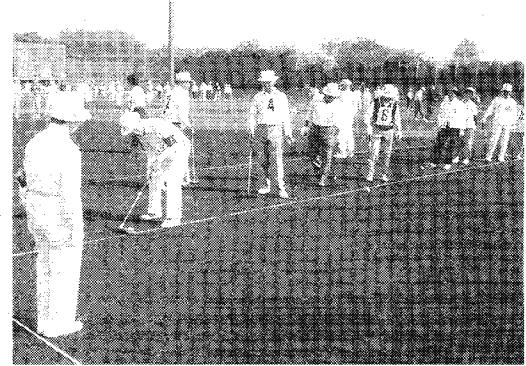
る。その時にスライドさせて自球を思つ

た位置に進ませることも出来ます。

ですが高齢者の健康

保持の為に、太陽の下でするゲート

ボールが一番適した競技だと私は思



(3)

平成15年度収支決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減
体協費	12,122,000	12,130,974	8,974
補助金及び交付金	3,883,000	3,941,000	58,000
委託料	5,716,000	5,716,000	0
賛助会費	1,690,000	1,630,000	△60,000
分担金	558,000	569,000	11,000
繰越金	274,964	274,964	0
雑収入	36	10	△26

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減
運営費	12,122,000	11,977,814	144,186
事務局費	2,176,000	2,118,157	57,843
事業費	9,819,000	9,759,657	59,343
積立金	100,000	100,000	0
予備費	27,000	0	27,000

収入済額 12,130,974 円
 支出済額 11,977,814 円
 差引額 153,160 円

平成16年度収支予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額
体協費	11,694,000
補助金及び交付金	3,883,000
委託料	5,438,000
賛助会費	1,650,000
分担金	569,000
繰越金	153,160
雑収入	840

2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額
運営費	11,694,000
事務局費	2,006,000
事業費	9,591,000
積立金	50,000
予備費	47,000

平成16年度藤沢市体育協会事業計画

- 1 評議員会、理事会、常任理事会、専門部会の開催
 2 藤沢市体育協会の組織運営に関する研究
 3 藤沢市委託事業の実施
 ① 第59回藤沢市民総合体育大会開催事業
 ② 第55回神奈川県総合体育大会藤沢市代表選手派遣事業

- 4 加盟種目協会への補助金交付
 5 第20回「スポーツ人の集い」開催
 6 藤沢スポーツ賞(功労者、優秀選手、敢闘選手)の表彰及び各種表彰に関する事業
 7 先進市体育協会への視察
 8 県外スポーツ交流推進の助成事業

③ スポーツ人の集い講演会の開催

④ 第20回「スポーツ人の集い」開催

⑤ 第20回「スポーツ人の集い」開催

⑥ 藤沢スポーツ賞(功労者、優秀選手、敢闘選手)の表彰及び各種表彰に関する事業

⑦ 先進市体育協会への視察

⑧ 県外スポーツ交流推進の助成事業

⑨ 賛助会員の拡充

⑩ 広報紙の編集発行に関する事業

⑪ 体育協会史の編纂に関する事業(60周年に向けて)

⑫ 種目協会会長会の開催

⑬ その他体育協会の目的遂行に必要な事業

- ① 市民総合体育大会の見直し検討の推進
 ② 60周年記念事業準備委員会の設置

種目協会会長の変更

ゴルフ協会	旧会長	星野 剛士
アーチエリーアカデミー	新会長	野澤 正三
バウンドテニス協会	旧会長	山岸 弘
新会長	松長 泰幸	南 田中 靖典
英毅	和子	英毅

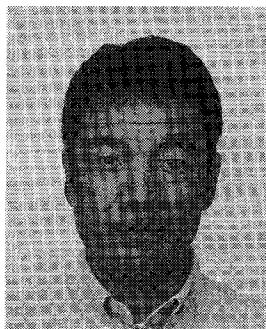
アテネオリンピック 祝出場

— 藤沢市体育協会は応援します —

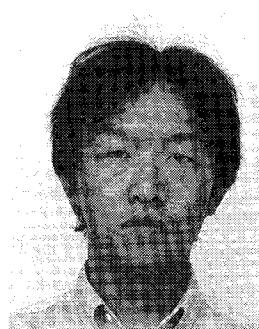
女子ソフトボール
山田恵里 選手



ヨット 日本チーム
松本真也 コーチ



ヨット(470級)
関 一人 選手



<経歴紹介>

1990年 用田少年野球部入部
1996年 御所見中学野球部入部
1999年 県立厚木商業高等学校
ソフトボール部入部
2002年 日立製作所
ソフトウエア事業部入社
同社ソフトボール部所属
同年 日本女子ソフトボールリーグ
新人賞・本塁打、打点王

御所見で生まれ育った山田選手は、小中学生の頃、男子に混じり野球と共に成長し高校でソフトボールを始め実業団に進みました。輝かしい成績でアテネに選ばれた山田選手の壮行会が少年野球当時の皆さんを中心になり、御所見市民センターで開催されました。

<コーチ歴紹介>

1998年 神奈川国体(本県チーム優勝)
バンコクアジア大会 2位
2001年 全日本49er級 優勝
2002年 全日本49er級 2位
2003年 49er級イタリアGP 4位
9er級フランスGP 5位

2001年 イタリアンオープントーナメント 優勝
2002年 釜山アジア大会 2位
全日本470級 2位
2003年 全日本470級 優勝
2004年 オーストラリアンチャンピオンシップ 3位

【松本コーチのコメント】

今、週4日間江の島ヨットハーバーでヨットの練習をしたりコーチとして指導をしています。藤沢市に住む私はこれを基本的な活動ベースとしています。他のチームとの比較分析と選手が集中して練習(レース)に向えるような環境づくりです。選手達は現在非常に上り調子です。アテネでは良い成果になると期待しています。

【関選手のコメント】

藤沢市の住民として又身近である江ノ島ヨットハーバーで練習している者としてアテネのオリンピックに日本を代表して出場できることを大変光栄に思っています。これを機会に藤沢市の方々にマリンスポーツに興味を持って頂ければ幸いです。アテネオリンピックでは自分の全力を出し切るよう、頑張っていきます。



山田恵里選手のオリンピック出場を祝う会

このオリンピックに女子ソフトボールで藤沢市出身の山田選手が、ヨットで同じく関選手として三人の活躍を祈るとともに、三人の方には、この祭典を大いに楽しんで頂きたいと思います。三人の特集を組めて、良い広報になつた事に感謝致します。日本選手を応援し、この夏を元気に過しませよう。

広報担当理事

編集部